# 教育について語り合いましょう

## ●地域・保護者の皆様へ

21世紀を生きる子どもたちが、心ゆたかに、のびやかに成長して欲しいと、すべての人たちが願っています。ひとりひとりの人間がかけがえのない存在として、大切にされ、自ら生きる力を身に付けるには、今後、家庭・地域・学校はどのような取り組みをしていったらよいのでしょうか。皆様のお考えをお聞かせください。今、川崎市では、今後10年間の川崎の教育のあり方についてまとめる「かわさき教育プラン」づくりを進めています。

このパンフレットは、かわさき教育プラン策定委員会がまとめた「かわさき教育プラン中間報告」の内容をご説明し、ご意見やご要望を伺うために再構成したものです。

この中間報告をもとに、今後、皆様からのご意見やご要望を踏まえて、検討を重ね、平成16年度中にプランとしてとりまとめる予定です。

このパンフレットが、皆様が教育について語り合うための資料になれば、幸いです。

**川崎市教育委員会**

## ●皆様とともに新しい時代の教育をつくり上げていきたいと考えています

◆地域での話し合いをお願いします。

◆説明や情報提供が必要な際にはお伺いしますのでご連絡ください。

◆この中間報告に対するご意見・ご要望をお寄せください。

## 【ご意見・ご要望・お問い合わせ先】

川崎市教育委員会総務部企画課

電話：044-200-3244　FAX：044-200-3950

電子メール：88kikaku@city.kawasaki.jp

ホームページアドレス：

http://www.city.kawasaki.jp/88/88kikaku/home/plan/index/index.htm

（検討の経過や内容の詳細は上記ホームページをご覧ください。）

# かわさき教育プラン中間報告～市民の力が教育を変える～

## 1．策定の主旨

わが国は、少子高齢化、グローバル化、情報化、産業・就業構造の変化、価値観の多様化、地方分権の推進などの大きな時代の変化のなかにあります。この大きな変化のなかで、教育分野においても、学力の低下、モラルの低下、学級崩壊などの新たな課題が浮かび上がってきています。

このプランは、すべての市民の教育・学習活動、文化・スポーツなどの各分野にわたって、子どもから高齢者までが生き生きと学び合うことのできる社会の実現をめざすものです。

## 2．プランの位置づけ

このプランは、「川崎市行財政改革プラン」並びに、現在、策定作業が進んでいる新たな総合計画との整合を図りながら、今後10年間の教育改革の方向性についてまとめるものです。また、新しい時代における、より効果的な教育財政のあり方などについて、平成16年3月に策定した「教育委員会事務事業改善プラン」の内容も踏まえてまとめていきます。

# 重点施策

「かわさき教育プラン中間報告」における重点施策は、3つの専門部会（教育行政・学校教育・社会教育）が個々に協議した内容をまとめたものですが、この重点施策は、川崎市が特に重点的に推進する施策の方向性を、各専門部会の協議内容をもとに検討し、市民の皆様に分かりやすい形式や表現に再構成したものであり、今後の最終的なプランの策定の柱になるものです。

## 「生きる力」をつける

家庭、学校、地域の多様な人々とのつながりのなかで、子どもたちの人権を尊重しながら、確かな学力の定着を図り、豊かな人間性や、たくましく生きるための健康・体力の向上をめざし、すべての子どもたちが一人の社会人として、ともに成長することのできる教育を進めます。

施策例：いのち・こころの教育の推進、確かな学力向上プログラムの設定（習熟度別授業、少人数指導、ティームティーチング）、安心して子育てができる、ともに育ち合う地域づくり　など

## 「個性が輝く学校」をつくる

各学校が創意工夫を発揮し、学校運営や教育活動に地域の特色や人材等の教育資源を活かしながら、地域に開かれた学校づくりに取り組むことによって、学校の改革を進めます。

施策例：学校の裁量権拡大、学校評価制度の導入、外部人材の活用　など

## 「教職員の力」を伸ばす

子どもたちが自ら学び、考え、行動する「確かな学力」を獲得できるよう、教職員の研修、支援、評価などの仕組みを構築して、指導力の向上を図ります。

施策例：研修カリキュラムの再編、人事評価の見直し、総合教育センター機能の強化　など

## 「自ら学ぶ市民」を応援する

学校と社会教育・市民利用施設のネットワーク化によって、市民の地域における学びの場を広げていきます。さらに、シニア世代やフリーターの増加などに対応した川崎らしい市民の学習を進めます。

施策例：学校施設の有効活用、就労など社会的自立に向けた支援、総合型地域スポーツクラブの育成　など

## 「市民の力」を活かす

地域住民や保護者に対する情報公開を進めて情報共有を図り、学校の活動に参加したり、地域における教育の施策づくりに参画できる仕組みをつくります。また、行政区を単位とした教育の推進体制づくりを進めます。

施策例：学校教育推進会議・地域教育会議の活性化、※「拡大教育委員会」設置の検討　など

※「教育行政専門部会」のなかで浮かび上がってきたアイディアで、学識経験者、保護者、校長、教職員、職員団体などさまざまな教育関係者が率直に教育問題について話し合い、諮問機関的な役割を果たすという構想のことです。

# 施策体系

この施策体系は、これまで「かわさき教育プラン策定委員会」の各専門部会で協議・提案された施策を網羅するかたちで整理した表です。

| 分野 | 施策の柱（例） | 施策（例） | 事業（例） |
|---|---|---|---|
| 幼児教育・学校教育（ようじきょういく・がっこうきょういく） | 子どもたちの健やかな成長の保障 | いのちの教育、こころの教育の一層の推進 | 人権尊重教育、いじめ・体罰の根絶や不登校対応施策　など |
| | | 子どもが生涯にわたって健やかに生き抜く教育の推進 | 教職員が子どもに向かい合い共に成長していく体制づくり、特別支援教育への取組、体力向上への取組　など |
| | | よりよい川崎を創り出していく「確かな学力」の育成 | 習熟度別学習、少人数指導の一層の導入、義務教育の全期間を見据えたカリキュラム編成の検討　など |
| | 地域に根ざした特色ある学校づくり | 川崎という地域に根ざした、特色ある教育活動の編成と展開 | 豊かな体験活動、外部人材の導入　など |
| | | 創意工夫を発揮できる学校づくり | 学校の自主性・自律性の確立、教育活動を支える人的、財政的支援、学校選択制の検討　など |
| | | 幼稚園・保育所から中学校までの教育活動の展開 | 幼稚園や保育所・小学校、小学校・中学校間の連携体制の整備、上級学校における進学時の支援体制を整備　など |
| | | 国際化・情報化に対応した教育の一層の推進 | 小学校からの英語活動への取組、情報モラルの育成　など |
| | | 地域に根ざした市立高等学校、聾・養護学校づくり | 高校の教育内容を広く市民に提供、川崎市特別支援教育検討プロジェクト　など |
| | 開かれた学校づくり | 地域に開かれた学校づくり | 学校評価システムの構築、学校開放促進へ向けた新たな管理手法、学校の経営状況等の地域への公表　など |
| | 教職員の成長のための支援 | 管理職・教職員登用の在り方、人事評価の見直し | 管理職・教職員登用の在り方、人事評価の見直し　など |
| | | 実践的な学校支援体制づくり | 市総合教育センターの機能を一層充実　など |
| | | 研修プログラムの再編の推進 | 教職員のライフ・ステージに沿った一貫性のある研修　など |
| | 教育環境の整備 | 義務教育施設の計画的整備、学校の適正配置 | 校舎の新・改築、各区適正配置検討委員会 |
| 家庭・地域教育（かていちいききょういく） | 学校・家庭・地域の子育ての支援体制づくり | 学校と地域コミュニティーとの関係づくり | 学校・家庭・地域の役割を踏まえた学習のネットワーク化　など |
| | | 学校と家庭とが密接に連携した子育て支援 | 家庭教育へのバックアップ体制の強化　など |
| | 地域における子どもの育ちの支援 | 大人とふれあう地域のセンターづくり | 学校を拠点とした総合型地域スポーツクラブの立ち上げ　など |
| | | 子どもたちの地域の居場所づくり | 既存社会教育施設における運営への子どもの参加・参画の推進　など |
| | | 安心して子育てができる、共に育ちあう地域づくり | 親同士が連帯して課題を共有し支え合うための支援　など |
| | | 地域資源や人材を生かした子どもたちの学びの促進 | 地元産業・企業等との連携による社会体験活動の推進　など |
| 社会教育（しゃかいきょういく） | 市民がいきいきと学び、活動する地域社会の創造 | 行政区単位での生涯学習のコーディネート | 行政区単位で地域の学習活動をつなぐ組織の設置　など |
| | | 市民の自主的な学習を支えるシステムの構築 | 社会教育施設の活性化　など |
| | | 市民利用施設や事業のネットワークの構築 | ネットワーク化による市民利用施設の利便性の向上の推進　など |
| | | 市民と行政の協働による生涯学習の推進 | 市民と行政との協働による市民の自主・自治運営のシステムの確立　など |
| | 社会的ニーズに対応した市民教育の場の拡充 | あらゆる市民への学習と参加の機会の保障 | あらゆる市民に対する学習支援　など |
| | | 社会的自立に向けたキャリアアップ支援 | 就労に向けたキャリアアップのための学習システムづくり　など |
| | | 川崎らしい市民教育を推進するネットワーク支援 | 市民団体・NPO・民間企業・学校組織・研修機関等とのネットワークの構築　など |
| 教育行政（きょういくぎょうせい） | 保護者・地域住民の参画促進 | 協働性と専門性の推進 | 「拡大教育委員会」設置の検討、学校教育推進会議の活用　など |
| | 行政区ごとの教育支援体制整備 | 柔軟性と民間活力の導入 | 現場主義での意思決定ができる体制の整備、行政区ごとの学校教育と社会教育を総合的に支援する組織の設置の検討　など |
| | 新時代に対応した効果的な教育財政の確立 | 効率的、効果的な予算のあり方の検討 | 県費教職員給与費の政令市移管に伴う財政の枠組みの見直し　など |
| | | 教育委員会の事務事業の改善（コスト意識化、チェック機能の強化、組織のスリム化） | 教育委員会事務改善体制の確立、補助・委託事業の執行体制の改革、外部団体の改善、物品管理の徹底、組織の適正化と人件費等の削減など |

# かわさき教育プランの全体像

## 時代潮流と教育への影響

・グローバル化と教育
・情報化と教育
・少子高齢化と教育
・成熟した市民社会・経済と教育
・価値観の多様化と教育
・地方分権と教育
・環境共生と教育　など

## 考慮するべき動き

・文部科学省が進める教育改革
・川崎市行財政改革プラン
・外部監査を受けて策定された教育委員会事務事業改善プラン
・川崎市が策定を進めている新たな総合計画など

## 川崎市の教育の現状と課題

・幼児教育・学校教育
・家庭・地域における子どもの教育
・社会教育
・文化・文化財保護
・スポーツ活動
・教育行政

## かわさき教育プランにおける基本的な目標

**★多様化する価値観のなかで、子どもと大人がともに生き、一人一人が生き生きと輝く学習社会を創造する**

具体的には・・・・・

●子どもたちが21世紀を生き抜く力を身につける教育
●地域や学校の創意工夫による多様な教育
●子どもも大人も個性が伸び、多様性が尊重される教育　など

**★地域の学習のネットワーク化を支援し、地域教育力の向上へつなげる**

具体的には・・・・・

●市民の自主的な学習活動・市民活動をつなぐ環境づくり
●誰もが、いつでも、どこでも学べ、一人一人が輝く環境づくり
●学校で子どもも大人も、ともに学び合い、遊び、育つ環境づくり　など

## 重点施策

「生きる力」をつける

「個性が輝く学校」をつくる

「教職員の力」を伸ばす

「自ら学ぶ市民」を応援する

「市民の力」を活かす

抽出

## かわさき教育プランにおける基本的な目標

**幼児教育**

子どもたちの健やかな成長の保障　など

**家庭・地域における子どもの教育**

学校・家庭・地域の子育ての支援体制づくり　など

**社会教育**

市民が生き生きと学び活動する地域社会の創造　など

**教育行政**

保護者・地域住民の参画促進　など

## プランの実現方策

・プランの推進体制　・市民への公表　・実施スケジュール　など（成果指標等の検討など）
・川崎市教育目標の再検討（昭和27年制定）